

宇都宮市立東小学校 第4学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学校の宿題は、自分のためになっている。」の設問では、肯定的回答が100%であり、県の平均を4.1ポイント上回っている。

これは、宿題の意味を児童にきちんと伝え、児童自身がその意義について理解している表れである。今後も児童が主体的に学習に取り組めるように工夫していく。

○「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。」の設問では、肯定的回答が88%であり、県の平均を9.7ポイント上回っている。

これは、授業のねらいに応じて常に、ペアトークやグループ学習を取り入れている表れである。今後も対話的な学びを中心に授業を進めていく。

○「先生は学習のことについてほめてくれる。」の設問では、肯定的回答が100%であり、県の平均を11.7ポイント上回っている。

常に、児童が前向きに学習に取り組めるように、学習することの意味を伝え、頑張ろうとしたこと、頑張ったこと、できるようになったことなどをこまめに取り上げて、称賛してきた。今後も児童を励まし、ほめて認める指導を継続していきたい。

●「学校のきまりを守っている。」の設問では、肯定的回答が88%であり、県の平均を6.5ポイント下回っている。また、「家でのきまりや約束を守っている。」の設問では、肯定的回答が84%であり、県の平均を6.3ポイント下回っている。

今まで、きまりやルールを守る意味や大切さについては、指導してきたが、時々守れない時があるのは事実である。今後も道德の授業だけでなく、全教育活動を通じて、ルールを守る意味と大切さについて継続的に指導していく。

●「早寝、早起きを心がけている。」の設問では、肯定的回答が68%であり、県の平均を10.2ポイント下回っている。

睡眠時間は健康面、生活面、学習面でも大きな影響を及ぼすので、保健の時間、また、様々な機会を捉えて児童に睡眠の大切さを伝えていく。

○「次の学習は、将来のために大切だと思いますか。」という設問において、「国語」「社会」「算数」「理科」「総合的な学習の時間」の全ての設問で、肯定的回答が100%であった。

これは、各教科の学習の際、学習内容だけでなく、その教科の学習をすることの意味と大切さについて伝えてきた表れである。今後も児童が主体的に学習に取り組めるように、学習することの意味を伝えながら、学習を進めていく。